

# 日本地震学会 2021 年度秋季大会

日程 2021年10月14日(木)～16日(土)

会場 オンライン

【大会会場サイト】 <https://confit.atlas.jp/guide/event/zisin2021/top>

【A会場・B会場・C会場・D会場】 各 Zoom 会議室

【授賞式および記念講演】 A 会場

【ポスター会場】 ポスター掲載サイトおよび Zoom ブレイクアウトルーム

【団体展示】 企業展示サイト

		A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
10月14日 (木)	09:00～12:15	S21. 震源物理・地下構造推定・強震動評価のための地震波スペクトル解析 S19. 地震一般・その他 S15. 強震動・地震災害	S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化	S09. 地震活動とその物理	S06. 地殻構造
	13:30～15:00	S15. 強震動・地震災害	S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化 S22. AI による地震学の発展	S09. 地震活動とその物理	S06. 地殻構造 S03. 地殻変動・GNSS・重力
	15:30～17:00	ポスターセッション コアタイム (会場: Zoom ブレイクアウトルーム) S03. 地殻変動・GNSS・重力, S06. 地殻構造, S09. 地震活動とその物理, S13. 地殻流体と地震, S15. 強震動・地震災害, S19. 地震一般・その他, S21. 震源物理・地下構造推定・強震動評価のための地震波スペクトル解析, S22. AI による地震学の発展, S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化			
10月15日 (金)	09:00～12:15	S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤震動	S08. 地震発生の物理	S09. 地震活動とその物理 S17. 津波	S03. 地殻変動・GNSS・重力 S11. 地震に伴う諸現象 S02. 地震計測・処理システム
	13:30～15:00	S04. テクトニクス	S08. 地震発生の物理	S17. 津波	S02. 地震計測・処理システム S14. 地震予知・予測
	15:30～17:00	ポスターセッション コアタイム (会場: Zoom ブレイクアウトルーム) S01. 地震の理論・解析法, S02. 地震計測・処理システム, S04. テクトニクス, S07. 地球及び惑星の内部構造と物性, S08. 地震発生の物理, S10. 活断層・歴史地震, S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力, S14. 地震予知・予測, S16. 地盤構造・地盤震動, S17. 津波			
10月16日 (土)	09:00～10:30	S20. 授賞式および記念講演 (A 会場)			
	11:00～12:15	S01. 地震の理論・解析法	S08. 地震発生の物理	S10. 活断層・歴史地震	
	13:30～15:00	S01. 地震の理論・解析法 S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力	S08. 地震発生の物理 S18. 地震教育・地震学史	S10. 活断層・歴史地震 S07. 地球及び惑星の内部構造と物性	

S05 は発表なし. S11 と S18 は口頭発表のみ. S13 はポスター発表のみ.  
学会の委員会活動を紹介する「S24. 社会に対する委員会の活動」のポスターもウェブ掲載.  
すべてのセッションのポスターは3日間通してウェブ掲載.  
懇親会は開催されません.

# 10月14日(木) 口頭発表

<b>A会場 (Zoom会議室) 午前</b> <b>S21. 震源物理・地下構造推定・強震動評価のための地震波スペクトル解析</b> <b>S19. 地震一般・その他</b> <b>S15. 強震動・地震災害</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	<b>B会場 (Zoom会議室) 午前</b> <b>S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数値モデリングの深化</b> <b>S22. AIによる地震学の発展</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分) 招待講演 (講演時間17分・質疑応答3分)	<b>C会場 (Zoom会議室) 午前</b> <b>S09. 地震活動とその物理</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	<b>D会場 (Zoom会議室) 午前</b> <b>S06. 地殻構造</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)
座長 S21.内出 崇彦, 染井 一寛 / S19.山田 真澄	座長 加藤 愛太郎, 長尾 大道	座長 麻生 尚文, 上田 拓	座長 仲西 理子
9:00 S21-01# Introduction to the SCEC Community Stress Drop Validation Study Baltay Annemarie <sup>2</sup> , Abercrombie Rachel <sup>3</sup> , *平 貴昭 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Berkeley Seismological Laboratory, <sup>2</sup> U.S. Geological Survey, <sup>3</sup> Boston University)	9:00 S23-01 豊後水道長期的スロースリップにおけるすべり分布のベイズマルチモデル推定: 実験的拘束条件の推定結果に対する影響 *縣 亮一郎 <sup>1</sup> , 中田 令子 <sup>2</sup> , 笠原 天人 <sup>3</sup> , 八木 勇治 <sup>4</sup> , 瀨下 幸成 <sup>5</sup> , 吉岡 祥一 <sup>5</sup> , 飯沼 卓史 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構, <sup>2</sup> 東北大学大学院理学研究科, <sup>3</sup> 所属なし, <sup>4</sup> 筑波大学大学院 生命環境系, <sup>5</sup> 神戸大学大学院理学研究科)	9:00 S09-01 Spatio-temporal clustering of successive earthquakes: analyses of global CMT and F-net catalogs *Thyostere Matondo Bantidi, Takeshi Nishimura (TOHOKU UNIVERSITY)	9:00 S06-01 三陸沖光ケーブル観測システムのDistributed Acoustic Sensingデータを用いたレイリー波位相速度の計測 *福島 駿 <sup>1</sup> , 篠原 雅尚 <sup>2</sup> , 山田 知朗 <sup>2</sup> , 西田 究 <sup>2</sup> , 竹尾 明子 <sup>2</sup> , 遠田 清 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻, <sup>2</sup> 東京大学地震研究所, <sup>3</sup> 北海道大学 理学院 自然史科学専攻 地球惑星ダイナミクス分野)
9:15 S21-02 多重スペクトル解析による小地震の震源過程の複雑性の定量化 *内出 崇彦 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター)	9:15 S23-02 シンプレクティックジョイント法に基づく超高精度不確定性定量化法と地震学への応用 *伊藤 伸一 (東京大学地震研究所)	9:15 S09-02 Long-term probability earthquake forecasts based on the ETAS model *庄 建倉 (統計数理研究所)	9:15 S06-02 S-net連続記録で捉えた東北沖における上盤浅部構造の時間変化 *利根川 貴志 <sup>1</sup> , 高木 涼太 <sup>2</sup> , 澤崎 郁 <sup>3</sup> , 汐見 勝彦 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構, <sup>2</sup> 東北大学, <sup>3</sup> 防災科学技術研究所)
9:30 S21-03 九州東方沖のフィリピン海プレート上における摩擦特性の空間分布: 小地震の応力降下量による推定 *山田 卓司 (茨城大学)	9:30 S23-03 ハミルトニアンモンテカルロ法を活用した断層モデル推定とメトリクス・ヘイスティング法との比較 *山田 太介 <sup>1</sup> , 太田 雄策 <sup>1</sup> , 大野 圭太郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科附属 地震・噴火予知研究観測センター, <sup>2</sup> 国土交通省国土地理院)	9:30 S09-03 マイグレーションの見えない点クラスターから拡散的な特徴を抽出する *麻生 尚文 (東京工業大学)	9:30 S06-03 2019年海陸統合地震探査による東北日本弧中部の地殻・上部マントル構造 *岩崎 貴哉 <sup>1</sup> , 佐藤 比呂志 <sup>2,3</sup> , 蔵下 英司 <sup>2</sup> , 石毛 宏和 <sup>4</sup> , 清水 英彦 <sup>4</sup> , 石山 達也 <sup>2</sup> , 飯高 隆 <sup>2</sup> , 篠原 雅尚 <sup>2</sup> , 川崎 慎治 <sup>4</sup> , 阿部 進 <sup>4</sup> , 平田 直 <sup>5,2</sup> ( <sup>1</sup> 地震予知総合研究振興会, <sup>2</sup> 東京大学地震研究所, <sup>3</sup> 静岡大学防災総合センター, <sup>4</sup> (株)地球科学総合研究所, <sup>5</sup> 国立研究開発法人 防災科学技術研究所)
9:45 S21-04 S波部と全波の分離サイト増幅特性と水平上下比一異なる補正係数の必要性 *川瀬 博 <sup>1</sup> , 伊藤 恵理 <sup>1</sup> , 仲野 健一 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京大防災研究所, <sup>2</sup> 安藤・ハザマ技術研究所)	9:45 S23-04 構造正則化を応用した地震波トモグラフィ法による速度不連続面の検出 *倉田 澄人 <sup>1</sup> , 山中 遥太 <sup>1</sup> , 矢野 恵佑 <sup>2</sup> , 駒木 文保 <sup>1</sup> , 椎名 高裕 <sup>3</sup> , 加藤 愛太郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大, <sup>2</sup> 統計数理研究所, <sup>3</sup> 産業技術総合研究所)	9:45 S09-04 地殻内地震活動とGNSS変位から推定される表面荷重の季節変動性 *上田 拓 <sup>1</sup> , 加藤 愛太郎 <sup>1</sup> , Johnson Christopher <sup>2</sup> , 寺川 寿子 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> ロスアラモス国立研究所, <sup>3</sup> 名古屋大学 大学院環境学研究所 附属地震火山研究センター)	9:45 S06-04 S波レーンパ関数解析から推測される日本海下のリソスフェアアセノスフェア境界 *悪原 岳 <sup>1</sup> , 中東 和夫 <sup>2</sup> , 篠原 雅尚 <sup>1</sup> , 山田 知朗 <sup>1</sup> , 塩原 肇 <sup>1</sup> , 山下 裕亮 <sup>3</sup> , 望月 公廣 <sup>1</sup> , 植平 賢司 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> 東京海洋大学, <sup>3</sup> 京都大学防災研究所, <sup>4</sup> 防災科学技術研究所)
10:00 S19-01 点過程モデルが推定する背景地震活動の時間変動から見た長野県中部の群発地震活動の特徴 *熊澤 貴雄 <sup>1</sup> , 尾形 良彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> 統計数理研究所)	10:00 S23-05 相互情報量と相関係数の積を用いたマッチドフィルタ法による深部低周波地震の検出 *栗原 亮 <sup>1</sup> , 加藤 愛太郎 <sup>1</sup> , 倉田 澄人 <sup>2</sup> , 長尾 大道 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> 東京大学大学院情報理工学研究科)	10:00 S09-05 スロースリップイベントによる地震活動誘発効果を隅に組み込んだETASモデルの開発 *西川 友章, 西村 卓也 (京大防災研究所)	10:00 S06-05 地震波異方向性に基づく首都圏下のPHSスラブ構造についての新たな解釈 *石瀬 素子 <sup>1</sup> , 加藤 愛太郎 <sup>1</sup> , 酒井 慎一 <sup>1</sup> , 中川 茂樹 <sup>1</sup> , 平田 直 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)
10:15 S19-02 2021年4月26日北海道釧路の爆発音の震源推定 *山田 真澄 (京大防災研究所)	10:15 S23-06 トレンドフィルタリングによる西南日本GNSSアレイからの短期スロースリップ現象の検出 *矢野 恵佑 <sup>1</sup> , 加納 将行 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 統計数理研究所, <sup>2</sup> 東北大学)	10:15 S09-06 南海トラフのプレート内地震活動度と長期的スロースリップイベントの時空間的關係 *三井 雄太 <sup>1</sup> , 上原 啓嗣 <sup>1</sup> , 小杉 一誠 <sup>2</sup> , 松尾 功二 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 静岡大学理学部, <sup>2</sup> 静岡大学総合科学技術研究科, <sup>3</sup> 国土地理院)	10:15 S06-06 駿河トラフから東海地域に沈み込むフィリピン海プレート形状 *松原 誠 <sup>1</sup> , 汐見 勝彦 <sup>1</sup> , 馬場 久紀 <sup>2</sup> , 佐藤 比呂志 <sup>3</sup> , 西宮 隆仁 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所, <sup>2</sup> 東海大学海洋学部 海洋地球科学科, <sup>3</sup> 東京大学地震研究所, <sup>4</sup> 気象庁気象研究所)
10:30 休憩 座長 伊藤 恵理, 森川 信之	10:30 休憩 座長 長尾 大道, 加藤 愛太郎	10:30 休憩 座長 遠田 晋次, 福田 孔達	10:30 休憩 座長 石瀬 素子
11:00 S15-01 観測できていない強烈な衝撃的鉛直地震波動について—その3— 一地震計で捉え難い威力波— *前原 博 ((一財)地球システム総合研究所)	11:00 S23-07# ベイズインバージョンにまつわるいくつかの問題について *深畑 幸俊 (京大防災研究所 地震予知研究センター)	11:00 S09-07 ETASモデルの時系列におけるイベント間隔についてのベイズ更新に基づいて推定されたイベント発生時刻の統計的評価 *田中 宏樹, 梅野 健 (京大大学院 情報学研究科)	11:00 S06-07 伊豆衝突帯とその周辺におけるフィリピン海プレートおよびスラブの地殻の厚さ *本多 亮 <sup>1</sup> , 安部 祐希 <sup>1</sup> , 石瀬 素子 <sup>2</sup> , 酒井 慎一 <sup>3,2</sup> , 行竹 洋平 <sup>2</sup> , 道家 涼介 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神奈川県温泉地学研究所, <sup>2</sup> 東京大学地震研究所, <sup>3</sup> 東京大学大学院情報学環・学際情報学府)
11:15 S15-02 強震動データベース試作版に基づく地震動予測式の拡張 *森川 信之, 藤原 広行, 岩城 麻子, 前田 宜浩 (防災科学技術研究所)	11:20 S23-08# ベイズ統計学による測地データの非線形逆解析 *福田 淳一 <sup>1</sup> , Johnson Kaj <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> Department of Earth and Atmospheric Sciences, Indiana University)	11:15 S09-08 東北地方太平洋沖地震の長期余震活動 —震源域の静穏化と周辺部の継続的活発化— *遠田 晋次 <sup>1</sup> , スタイン ロス <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学災害科学国際研究所 災害評価・低減研究部門, <sup>2</sup> テンブラー)	11:15 S06-08 南海トラフ域の3次元地震波速度・密度構造の構築 *仲西 理子 <sup>1</sup> , Qin Yanfang <sup>1</sup> , Liu Xin <sup>1</sup> , 藤江 剛 <sup>1</sup> , 汐見 勝彦 <sup>2</sup> , 小平 秀一 <sup>1</sup> , 高橋 成実 <sup>1,2</sup> , 中村 武史 <sup>3</sup> , 富士原 敏也 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門, <sup>2</sup> 防災科学技術研究所, <sup>3</sup> 電力中央研究所)
11:30 S15-03 成層構造における直達S波の透過率を考慮した地震動距離減衰特性の検討 *池浦 友則 (鹿島技術研究所)	11:40 S23-09# A Bayesian framework for Earthquake Early Warning *Stephen Wu (統計数理研究所)	11:30 S09-09 混合分布による南海トラフ深部低周波微動の規模分布 *岩田 貴樹 <sup>1</sup> , 平松 良浩 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国立広島大学, <sup>2</sup> 金沢大学)	11:30 S06-09 南海トラフ室戸沖における詳細な地震波速度構造: 稠密OBS探査データを用いた波形解析 *藤江 剛, 新井 隆太, 白石 和也, 中村 恭之, 小平 秀一, 海宝 由佳, 尾鼻 浩一郎, 三浦 誠一 (海洋研究開発機構)
11:45 S15-04 近地地震波形に見られるsPL波とPL波の生成・伝播特性: 震源深さの即時推定への活用可能性 *大須賀 啓士, 古村 孝志 (東京大学地震研究所)	12:00 S23-10 連続地震計記録の極値統計解析に基づく大地震後の平常時に対する揺れやすさの予測 *澤崎 郁 (防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門)	11:45 S09-10 モーメント比を用いた強度情報抽出の試み *松本 聡 <sup>1</sup> , 光岡 郁穂 <sup>2</sup> , 飯尾 能久 <sup>3</sup> , 酒井 慎一 <sup>4</sup> , 加藤 愛太郎 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 九州大学大学院理学研究科地震火山観測研究センター, <sup>2</sup> 九州大学大学院理学部, <sup>3</sup> 京都大学防災研究所, <sup>4</sup> 東京大学大学院情報学環・学際情報学府, <sup>5</sup> 東京大学地震研究所)	11:45 S06-10 日向灘における稠密地殻構造探査に基づくプレート沈み込み構造とスロースリップ地震活動の關係 *新井 隆太 <sup>1</sup> , 三浦 誠一 <sup>1</sup> , 中村 恭之 <sup>1</sup> , 藤江 剛 <sup>1</sup> , 海宝 由佳 <sup>1</sup> , 小平 秀一 <sup>1</sup> , 望月 公廣 <sup>2</sup> , 仲田 理映 <sup>2</sup> , 沖野 郷子 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構, <sup>2</sup> 東京大学地震研究所, <sup>3</sup> 東京大学大気海洋学研究所)
12:00 S15-05 地震波逆伝播計算を用いた大地震の断層すべり即時推定の高解像度化 *柴田 勇吾 <sup>1</sup> , 古村 孝志 <sup>1</sup> , 前田 拓人 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> 弘前大学大学院理工学研究科)	12:00 S23-10 連続地震計記録の極値統計解析に基づく大地震後の平常時に対する揺れやすさの予測 *澤崎 郁 (防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門)	12:00 S09-11 セルオートマトンを用いた時定数の競合による地震モデル *福田 孔達 <sup>1</sup> , 波多野 恭弘 <sup>2</sup> , 望月 公廣 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所地震予知研究センター, <sup>2</sup> 大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻)	12:00 S06-11 High-Resolution Seismic Imaging of the subducting Kyushu-Palau Ridge in the Hyuga-Nada in relation to the 2013 and 2015 tectonic tremor distributions *馬 研雪 <sup>1</sup> , 仲田 理映 <sup>1</sup> , 望月 公廣 <sup>1</sup> , 三浦 誠一 <sup>1</sup> , 中村 恭之 <sup>2</sup> , 新井 隆太 <sup>2</sup> , 藤江 剛 <sup>2</sup> , 海宝 由佳 <sup>2</sup> , 小平 秀一 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所, <sup>2</sup> 海洋研究開発機構)

<b>A会場 (Zoom会議室) 午後</b> <b>S15. 強震動・地震災害</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	<b>B会場 (Zoom会議室) 午後</b> <b>S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数値モデリングの深化</b> <b>S22. AIによる地震学の発展</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	<b>C会場 (Zoom会議室) 午後</b> <b>S09. 地震活動とその物理</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	<b>D会場 (Zoom会議室) 午後</b> <b>S06. 地殻構造</b> <b>S03. 地殻変動・GNSS・重力</b> 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)
座長 野津 厚, 吉田 昌平	座長 矢野 恵佑, 久保 久彦	座長 野田 雄貴, 中野 優	座長 S06.田中 優作 / S03.小林 知勝, 田中 優作
13:30 S15-06 1896年陸羽地震における動力学的検討に基づく断層断層の破壊過程を考慮した運動学的震源モデルによる地震動評価 *熊谷 周治 <sup>1</sup> , 松川 滉明 <sup>2</sup> , 三橋 祐太 <sup>2</sup> , 西條 裕介 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北電力株式会社, <sup>2</sup> 株式会社構造計画研究所)	13:30 S23-11 The re-entrance of spherical time-space ETAS model *熊子 瑠, 庄 建倉 (統計数理研究所)	13:30 S09-12 龍神湖(大町ダム)付近の地震活動 *酒井 慎一 <sup>1,2</sup> , 秋山 峻寛 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府, <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)	13:30 S06-12 Three-Dimensional Seismic Attenuation Models for Central Nepal *Chintan Timsina <sup>1</sup> , James Mori <sup>2</sup> , Masumi Yamada <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Graduate School of Science, Kyoto University, <sup>2</sup> Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)
13:45 S15-07 1944年東南海地震の木造倒壊率に基づく不均質震源像の推定 *伊藤 恵理 <sup>1</sup> , 仲野 健一 <sup>2</sup> , 関口 春子 <sup>1</sup> , 川瀬 博 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大防災研究所, <sup>2</sup> 安藤・間技術研究所)	13:45 S23-12 ガウス過程回帰を用いた本震直後における余震分布の推定 *森川 耕輔 <sup>1</sup> , 長尾 大道 <sup>2</sup> , 伊藤 伸一 <sup>2</sup> , 寺田 吉吾 <sup>1,3</sup> , 酒井 慎一 <sup>2</sup> , 平田 直 <sup>2,4</sup> ( <sup>1</sup> 大阪大学, <sup>2</sup> 東京大学, <sup>3</sup> 理研, <sup>4</sup> 防災科学技術研究所)	13:45 S09-13 長野県西部地域で発生したM3.7の地震の前震活動とその発生要因について *野田 雄貴 <sup>1</sup> , 片尾 浩 <sup>2</sup> , 飯尾 能久 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京大大学院理学研究科, <sup>2</sup> 京大防災研究所)	13:45 S06-13 Extinction in genetic algorithms: application to receiver functions inversion *Admore Phindani MPUANG <sup>1,2</sup> , Takuo SHIBUTANI <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Graduate School of Science, Kyoto University, <sup>2</sup> Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University)
14:00 S15-08 Estimate of the rupture process of the 2021 off-Fukushima earthquake based on the finite-fault source inversion Inferred from strong motion records *吉田 昌平 <sup>1</sup> , 津田 健一 <sup>2</sup> , Chen Ji <sup>3</sup> , Ralph Archuleta <sup>3,4</sup> , 佐藤 俊明 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 大崎総合研究所, <sup>2</sup> 清水建設, <sup>3</sup> カリフォルニア大学サンタバーバラ校, <sup>4</sup> RJA Ground Motion Analysis, Inc)	14:00 S22-01 地震連続波形画像からの深部低周波微動検出に向けた畳み込みニューラルネットワークの構築 *金子 亮介 <sup>1,2</sup> , 長尾 大道 <sup>2,1</sup> , 伊藤 伸一 <sup>2,1</sup> , 小原 一成 <sup>2</sup> , 鶴岡 弘 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学大学院情報理工学系研究科, <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)	14:00 S09-14 森吉山の群発地震における地震活動および波形相関の時空間変化 *雨澤 勇太, 前田 拓人, 小菅 正裕, 高野 智也 (弘前大学大学院理工学研究科)	14:00 S03-01 東北地方太平洋沖地震の余効変動予測モデルを利用した広域の微小な地殻変動検出 *藤原 智 (国土地理院)
14:15 S15-09 女川原子力発電所を対象としたSPGAモデルによる強震動シミュレーション *野津 厚 (港湾空港技術研究所)	14:15 S22-02 動的モード分解による地震時系列データの特徴抽出 *菊地 亮太 <sup>1</sup> , 久保 久彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京大, <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)	14:15 S09-15 2011年東北沖地震後から福島-茨城県境周辺で活発化した地震活動に見られる内陸の繰り返し地震とその原因 *池田 里奈 <sup>1</sup> , 吉田 圭佑 <sup>1</sup> , 高橋 諒 <sup>3</sup> , 福島 洋 <sup>2</sup> , 松澤 暢 <sup>1</sup> , 長谷川 昭 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻, <sup>2</sup> 東北大学災害科学国際研究所, <sup>3</sup> 気象庁)	14:15 S03-02 能登半島で発生した群発地震と、それに伴ってゆっくりと進行する地殻変動 *田中 優作, 鷲谷 威 (名古屋大学)
14:30 S15-10 MeSO-net観測記録を用いた東京湾直下M7級スラブ内地震の強震動シミュレーション *鈴木 亘, 木村 武志, 久保 久彦, 先名 重樹 (防災科学技術研究所)	14:30 S22-03 地震学分野におけるブラックボックス最適化問題へのベイズ最適化の適用: セントロイドモーメントテンソルインバージョンでの例 *久保 久彦 <sup>1</sup> , 吉田 圭佑 <sup>2</sup> , 木村 武志 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所, <sup>2</sup> 東北大学理学研究科附属地震噴火予知研究観測センター)	14:30 S09-16 鬼界カルデラにおけるDASを用いた地震動, エアガン観測 *中野 優 <sup>1</sup> , 杉岡 裕子 <sup>2</sup> , 荒木 英一郎 <sup>1</sup> , 中島 倫也 <sup>1</sup> , 伊藤 亜妃 <sup>1</sup> , 松本 浩幸 <sup>1</sup> , 横引 貴史 <sup>1</sup> , 利根川 貴志 <sup>1</sup> , 山本 陽二朗 <sup>1</sup> , 木村 俊則 <sup>1</sup> , 藤江 剛 <sup>1</sup> , 田中 聡 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 防災科学技術研究所, <sup>2</sup> 神戸大学海洋底探査センター)	14:30 S03-03 陸上ポアホール歪観測による紀伊半島沖浅部SSEの検出 *坂場 智史 <sup>1</sup> , 太田 和晃 <sup>2</sup> , 長谷川 浩 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所, <sup>2</sup> 防災科学技術研究所, <sup>3</sup> 気象庁)
14:45 S15-11 経験的グリーン関数法に用いる要素地震の破壊伝播効果の補正に関する検討 *金田 惇平 <sup>1</sup> , 田中 信也 <sup>1</sup> , 久田 嘉章 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東電設計株式会社, <sup>2</sup> 工学院大学建築学部)	14:45 S22-04 ガウス過程によるCMTデータインバージョンの試み *岡崎 智久 <sup>1</sup> , 深畑 幸俊 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国研) 理化学研究所 革新知能総合研究センター, <sup>2</sup> 京大 防災研究所)	14:45 S09-17 噴火や群発活動の誘因かもしれない御嶽山山頂周辺のやや深い地震活動 その1 *山中 佳子 (名古屋大学)	14:45 S03-04 継続時間1時間のスロースリップイベント *勝間田 明男 <sup>1</sup> , 宮岡 一樹 <sup>2</sup> , 露木 貴裕 <sup>5</sup> , 坂場 智史 <sup>4</sup> , 田中 昌之 <sup>3</sup> , 伊藤 武男 <sup>6</sup> , 高森 昭光 <sup>2</sup> , 新谷 昌人 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 富士山大学, <sup>2</sup> 東大地震研究所, <sup>3</sup> 気象庁, <sup>4</sup> 産総研, <sup>5</sup> 気象研究所, <sup>6</sup> 名古屋大学)

#は招待講演



## ポスター発表 10月14日(木)15:30~17:00 ポスター会場 S03, S06, S09, S13, S15, S19, S21, S22, S23

S03. 地殻変動・GNSS・重力	S09. 地震活動とその物理	S15. 強震動・地震災害	
S03P-01	PTS解析による地震時の動的な破壊過程から初期余効すべりまでの連続的な推定〜2011年東北地方太平洋沖地震の事例〜 *田中 優介 <sup>1</sup> 、太田 雄策 <sup>2</sup> 、宮崎 真 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>2</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>3</sup> 京都大学大学院理学研究科)	S15P-01	S-netを用いたブロックインバージョン解析に基づく福島県周辺で発生する地震の距離減衰特性の推定 *友澤 裕介、引田 智樹、池浦 友則、笠松 健太郎(鹿島技術研究所)
S03P-02	2016年熊本地震の断層終端部における地殻変動と重力データから推定した地下の密度構造の詳細 *小林 知勝 <sup>1</sup> 、松尾 功二 <sup>1</sup> 、安藤 亮輔 <sup>2</sup> 、中埜 貴元 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 国土地理院、 <sup>2</sup> 東京大学)	S15P-02	Features of horizontal-to-vertical spectral ratios of ambient noises and earthquake motions at the S-net sites *Yadab Prasad DHAKAL <sup>1</sup> 、Atsushi Wakai <sup>1</sup> 、Hiroaki Yamanaka <sup>2</sup> 、Takashi Kunugi <sup>1</sup> 、Shin Aoi <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience、 <sup>2</sup> Tokyo Institute of Technology)
S03P-03	長期的スロースリップ客観検出手法の日向灘への適用 *小林 昭夫(気象研究所地震津波研究部)	S15P-03	多数の微動アレイによる浅部3次元S波速度構造のモデル化:愛知県西尾市周辺の場合 *長 郁夫(産業技術総合研究所 地質情報研究部門)
S03P-04	アラスカ沈み込み帯における短期的スロースリップイベントの系統的検出 *岡田 悠太郎 <sup>1</sup> 、西村 卓也 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院 理学研究科、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所)	S15P-04	2016年熊本地震の地表断層ごく近傍の強震動について *岩城 麻子、藤原 広行(防災科学技術研究所)
S03P-05	2018年以降GEONETで検出された南海トラフ沿いの長期的SSE *小沢 慎三郎、水藤 尚、宗包 浩志(国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター)	S15P-05	2021年2月福島県沖で発生したスラブ内地震の震源過程解析—3次元地下構造モデルを考慮した検討— *岩城 麻子、藤原 広行(防災科学技術研究所)
S03P-06	GNSS-A海底地殻変動観測アレイ[SGO-A]で捉えた東北地方太平洋沖地震後10年間の地震後海底地殻変動 *渡邊 俊一 <sup>1</sup> 、石川 直史 <sup>1</sup> 、中村 優斗 <sup>1</sup> 、横田 裕輔 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海上保安庁海洋情報部、 <sup>2</sup> 東京大学生産技術研究所)	S15P-06	2021年福島県沖の地震(Mj7.3)の強震動評価に基づいた強震動予測手法の適用性評価 *入江 紀嘉 <sup>1</sup> 、吉田 昌平 <sup>1</sup> 、岡田 康男 <sup>1</sup> 、宮腰 研 <sup>2</sup> 、染井 一寛 <sup>2</sup> 、鳥田 晴彦 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> (株)大崎総合研究所、 <sup>2</sup> (一財)地域 地盤 環境 研究所)
S03P-07	GNSS-A海底地殻変動観測アレイSGO-Aによる南海トラフプレート境界のすべり欠損レートの変動モニタリング *石川 直史 <sup>1</sup> 、渡邊 俊一 <sup>1</sup> 、中村 優斗 <sup>1</sup> 、横田 裕輔 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海上保安庁海洋情報部、 <sup>2</sup> 東京大学生産技術研究所)	S15P-07	国内のプレート間地震を対象にした震源スケールリング則の再検討 *宮腰 研 <sup>1</sup> 、郭 雨佳 <sup>1</sup> 、吉田 邦一 <sup>1</sup> 、入江 紀嘉 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> (一財) 地域 地盤 環境 研究所 地震解析グループ、 <sup>2</sup> (株)大崎総合研究所)
S03P-08	数値シミュレーションを用いたGNSS-A海底地殻変動観測における海中音速場の影響評価 *中村 優斗 <sup>1</sup> 、横田 裕輔 <sup>2</sup> 、石川 直史 <sup>1</sup> 、渡邊 俊一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海上保安庁海洋情報部、 <sup>2</sup> 東京大学生産技術研究所)	S15P-08	南海トラフ巨大地震の発生の多様性を考慮した地震防災基盤シミュレータの構築 *中村 洋光 <sup>1</sup> 、藤原 広行 <sup>1</sup> 、前田 宣浩 <sup>1</sup> 、土肥 裕史 <sup>1</sup> 、時実 良典 <sup>2</sup> 、石丸 晴海 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門、 <sup>2</sup> 応用アル・エム・エス、 <sup>3</sup> 三菱スペース・ソフトウェア)
S06. 地殻構造		S15P-09	南海トラフ巨大地震による長継続時間・広帯域強震動のシミュレーション *前田 宣浩 <sup>1</sup> 、岩城 麻子 <sup>1</sup> 、青井 真 <sup>1</sup> 、中村 洋光 <sup>1</sup> 、藤原 広行 <sup>1</sup> 、関 航佑 <sup>2</sup> 、今井 隆太 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 三菱スペース・ソフトウェア株式会社、 <sup>3</sup> みずほリサーチ&テクノロジー株式会社)
S06P-01	北海道南東沖・千島海溝周辺での反射法地震探査 *野 徹雄 <sup>1</sup> 、小平 秀一 <sup>1</sup> 、藤江 剛 <sup>1</sup> 、中村 恭之 <sup>1</sup> 、白石 和也 <sup>1</sup> 、三浦 亮 <sup>1</sup> 、山口 寛登 <sup>2</sup> 、1、海宝 由佳 <sup>1</sup> 、朴 進午 <sup>3</sup> 、孫 岳 <sup>3</sup> 、于 凡 <sup>3</sup> 、中西 正男 <sup>4</sup> 、藤本 萌 <sup>5</sup> 、小林 稜弥 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 神戸大、 <sup>3</sup> 京大大大気海洋研究所、 <sup>4</sup> 千葉大学院学、 <sup>5</sup> 千葉大院 融合、 <sup>6</sup> ハワイ大)	S15P-10	南海トラフ巨大地震の発生の多様性を考慮した津波遡上計算とその利活用に向けて—概要と利活用事例の紹介— *土肥 裕史 <sup>1</sup> 、中村 洋光 <sup>1</sup> 、藤原 広行 <sup>1</sup> 、矢守 克也 <sup>2</sup> 、杉山 高志 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 京都大学 防災研究所)
S06P-02	S波スプリットング解析による東北地方の地震波速度異方性測定(4) *水田 達也 <sup>1</sup> 、岡田 知己 <sup>1</sup> 、Savage Martha <sup>2</sup> 、高木 涼太 <sup>1</sup> 、吉田 圭佑 <sup>1</sup> 、酒井 慎一 <sup>3</sup> 、勝俣 啓 <sup>4</sup> 、大園 真子 <sup>3,4</sup> 、小菅 正裕 <sup>5</sup> 、前田 拓人 <sup>5</sup> 、山中 佳子 <sup>6</sup> 、片尾 浩 <sup>7</sup> 、松島 健 <sup>8</sup> 、八木原 寛 <sup>9</sup> 、中山 貴史 <sup>1</sup> 、平原 聡 <sup>1</sup> 、河野 俊夫 <sup>1</sup> 、松澤 暢 <sup>1</sup> 、2011年東北地方太平洋沖地震 緊急観測グループ( <sup>1</sup> 東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、 <sup>2</sup> Victoria University of Wellington、 <sup>3</sup> 東大地震研、 <sup>4</sup> 北大・理、 <sup>5</sup> 弘前大・理工、 <sup>6</sup> 名古屋大・環境、 <sup>7</sup> 京大防災研、 <sup>8</sup> 九州大・理、 <sup>9</sup> 鹿児島大学)	S15P-11	南海トラフ巨大地震の発生の多様性を踏まえた条件付きハザード評価の試行 中村 洋光 <sup>1</sup> 、*時実 良典 <sup>2</sup> 、藤原 広行 <sup>1</sup> 、清水 智 <sup>2</sup> 、麻生 未季 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門、 <sup>2</sup> 応用アル・エム・エス株式会社)
S06P-03	深発地震のSP変換波から推定される首都圏下のフィリピン海プレート構造:丹沢山地から関東平野西域を対象とした予備解析 *吉本 和生(横浜国立大学)	S15P-12	確率的な地震動予測地図(2020年版)の地震活動モデルで表現される地震発生数 *宮腰 淳一 <sup>1</sup> 、森川 信之 <sup>2</sup> 、藤原 広行 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 大崎総合研究所、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)
S06P-04	Double-Difference Tomography法を用いた白山火山下の三次元速度構造推定 *三浦 凜 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学大学院自然科学研究科、 <sup>2</sup> 金沢大学理工学域地球社会基盤学系大学院自然科学研究科)	S15P-13	ニューラル・ネットワークによる非エルゴード地震動予測 *岡崎 智久 <sup>1</sup> 、森川 信之 <sup>2</sup> 、岩城 麻子 <sup>2</sup> 、藤原 広行 <sup>2</sup> 、上田 修功 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 国研)理化学研究所 革新知能総合研究センター、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)
S06P-05	潮岬—足摺岬沖南海トラフにおける稠密反射法探査による構造マッピング *中村 恭之、海宝 由佳、野 徹雄、白石 和也、藤江 剛、小平 秀一、木村 学、尾鼻 浩一郎、三浦 誠一、仲西 理子(海洋研究開発機構)	S15P-14	AN-netで得られた近地地震記録の解析と数値モデリング *中原 恒 <sup>1</sup> 、関根 秀太郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻、 <sup>2</sup> 地震予知総合研究振興会)
S06P-06	南海トラフ海側で沈み込むフィリピン海プレート上に発達する微小正断層群の特徴 *山下 幹也 <sup>1,2</sup> 、仲西 理子 <sup>2</sup> 、三浦 誠一 <sup>2</sup> 、小平 秀一 <sup>2</sup> 、金田 義行 <sup>3,2</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究部門、 <sup>2</sup> 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>3</sup> 香川大学)	S19P-01	2016年熊本地震で誘発された大分県中部の地震の初動読み取りと震源決定 *高崎 雄大 <sup>1</sup> 、小松 正直 <sup>2</sup> 、渡邊 禎賢 <sup>2</sup> 、竹中 博士 <sup>3</sup> 、大島 光貴 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 岡山大学理学部地球科学科(現所属:気象庁)、 <sup>2</sup> 岡山大学大学院自然科学研究科、 <sup>3</sup> 岡山大学学術研究院自然科学学域、 <sup>4</sup> 清水建設)
S06P-07	地震波到来方向の偏りが傾斜する地震波速度不連続面の推定に与える影響 *汐見 勝彦(防災科学技術研究所)	S19P-02	「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」:これまでの成果と今後の計画 *小平 秀一 <sup>1</sup> 、藤原 広行 <sup>2</sup> 、高橋 成美 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)
S06P-08	南海トラフ西部周辺におけるランダム速度不均質構造 *高橋 努 <sup>1</sup> 、尾鼻 浩一郎 <sup>1</sup> 、石原 靖 <sup>1</sup> 、三浦 誠一 <sup>1</sup> 、小平 秀一 <sup>1</sup> 、金田 義行 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 香川大学)		
S13. 地殻流体と地震			
S13P-01	福島県いわき地方を対象としたS波スプリットング解析 *渡部 豪、平塚 晋也、島田 耕史(日本原子力研究開発機構 バックエンド研究開発部門 東濃地科学センター)	S21P-01	自己回帰モデルによるスペクトル解析を用いた地盤増幅率の周波数特性評価の試行 *鎌谷 紀子、小木曾 仁(気象研究所)
S13P-02	S波スプリットング解析による御嶽山周辺の異方性構造 *村上 理、渡部 豪(日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター)	S21P-02	福島県沖の中規模地震の震源スペクトルに基づく破壊伝播効果 *佐藤 智美(清水建設機械技術研究所)
		S21P-03	茨城県・千葉県東房沖における小地震の応力降下量解析:太平洋プレート上の摩擦特性の空間不均質性の推定 *増田 肇、山田 卓司(茨城大学)
S22. AIによる地震学の発展			
S22P-01		S22P-01	箱根火山における機械学習を用いた地震波検測の性能評価 *金 亜伊 <sup>1</sup> 、中村 勇士 <sup>1</sup> 、畠山 海 <sup>1</sup> 、上松 大輝 <sup>1</sup> 、行竹 洋平 <sup>2</sup> 、安倍 祐希 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 横浜国立大学、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>3</sup> 神奈川県温泉地学研究所)
S22P-02		S22P-02	室内水圧破壊実験で誘発された微小破壊のモーメントテンソル解析を目的とした深層学習によるP波初動振幅読み取り *直井 誠 <sup>1</sup> 、陳 友晴 <sup>1</sup> 、田中 壘 <sup>1</sup> 、有馬 雄太郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
S22P-03		S22P-03	機械学習法による早期地震警報における単独観測点処理の改良 *野田 俊太、鶴飼 正人(鉄道総合技術研究所)
S23. ベイズ統計学による地震データの解析と数理モデリングの深化			
S23P-01		S23P-01	アジョイント法に基づく2003年十勝沖地震の余効すべりの現状把握と短期推移予測 *加納 将行 <sup>1</sup> 、宮崎 真一 <sup>2</sup> 、石川 洋一 <sup>3</sup> 、平原 和朗 <sup>4,5</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻 固体地球物理学講座、 <sup>2</sup> 京都大学理学研究科、 <sup>3</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>4</sup> 理化学研究所、 <sup>5</sup> 香川大学)
S23P-02		S23P-02	MCMC法を用いた2004年新潟県中越地震震源域周辺の地震波速度分布の推定 *椎名 高裕 <sup>1</sup> 、加納 将行 <sup>2</sup> 、倉田 澄人 <sup>3</sup> 、加藤 愛太郎 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所地質調査総合センター、 <sup>2</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>3</sup> 東京大学大学院情報理工系研究科、 <sup>4</sup> 東京大学地震研究所)



# 10月15日(金) 口頭発表

## A会場 (Zoom会議室) 午前 S15. 強震動・地震災害 S16. 地盤構造・地盤変動

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	浅野 公之、長坂 陽介
9:00 S15-12	地震波トモグラフィーによる九州地方の地殻内不均質構造 *山田 浩二 <sup>1</sup> 、鳥家 充裕 <sup>1</sup> 、岡崎 敏 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 株)阪神コンサルタンツ、 <sup>2</sup> 関西電力)
9:15 S15-13	青森県東方沖の地震があまり出ず東北日本と北海道の減衰構造の違い *寛 楽庵(神戸大・理)
9:30 S15-14	函館平野三次元速度構造モデルによる長周期地震動増幅特性 *浅野 公之 <sup>1</sup> 、岩田 知孝 <sup>1</sup> 、吉田 邦一 <sup>2</sup> 、井上 直人 <sup>2</sup> 、染井 一寛 <sup>2</sup> 、宮腰 研 <sup>2</sup> 、大堀 道広 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>2</sup> 一般財団法人地域地盤環境研究所、 <sup>3</sup> 福井大学附属国際原子力工学研究所)
9:45 S15-15	地震波干渉法理論に基づく強震記録のレスナバー関数と自己相関関数の同時解析による地盤構造の推定 *地元 孝輔(香川大学)
10:00 S16-01	地震波干渉法の適用条件に関する一考察 *長坂 陽介、野津 厚(港湾空港技術研究所)
10:15 S16-02	2016年11月22日福島県沖の地震(M7.4)により福島県東部で観測されたやや長周期の後続波群 *植竹 富一(東京電力ホールディングス機)
10:30	休憩
座長	林田 拓己、吉田 邦一
11:00 S16-03	奈良市三条本町NB-1ボーリングにおける速度構造調査 *岩田 知孝 <sup>1</sup> 、山田 浩二 <sup>2</sup> 、澤田 基貴 <sup>2</sup> 、石原 大亮 <sup>2</sup> 、岡本 茂 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>2</sup> 株)阪神コンサルタンツ)
11:15 S16-04	MeSO-net観測記録データトラフィックにみる2020年の首都圏における常時微動レベル低下と要因検証 *林田 拓己 <sup>1</sup> 、吉見 雅行 <sup>2</sup> 、鈴木 晴彦 <sup>3</sup> 、森 伸一郎 <sup>4</sup> 、香川 敬生 <sup>5</sup> 、山田 雅行 <sup>6</sup> 、一井 康二 <sup>7</sup> ( <sup>1</sup> 建築研究所、 <sup>2</sup> 産業技術総合研究所、 <sup>3</sup> 応用地質株式会社、 <sup>4</sup> 愛媛大学、 <sup>5</sup> 鳥取大学、 <sup>6</sup> 株式会社ニュージェック、 <sup>7</sup> 関西大学)
11:30 S16-05	微動アレー記録をもとに求めた回転成分から推定した和歌山平野におけるラブ位相速度 *吉田 邦一 <sup>1</sup> 、上林 宏敏 <sup>2</sup> 、大堀 道広 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 一財)地域地盤環境研究所、 <sup>2</sup> 京都大学、 <sup>3</sup> 福井大学)
11:45 S16-06	表面波分離の基礎的検討と関東平野内の長周期地震動への適用 *佐藤 拓也 <sup>1</sup> 、上林 宏敏 <sup>2</sup> 、永野 正行 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京理科大学、 <sup>2</sup> 京都大学)
12:00 S16-07	Equivalent linear method with complex frequency for site response analyses to near-fault fling-step displacements *吳 双蘭、野津 厚、長坂 陽介(港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 地震動研究グループ)

## B会場 (Zoom会議室) 午前 S08. 地震発生の物理

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	安藤 亮輔、久保田 達矢
9:00 S08-01	東北沖地震のすべり分布と応力降下分布:海溝大すべりの原因の力学的考察 *久保田 達矢、齊藤 竜彦(防災科学技術研究所)
9:15 S08-02	2016年熊本地震震源域における余震活動による非弾性歪み場・変位場の時間発展について *光岡 郁穂 <sup>1</sup> 、松本 聡 <sup>2</sup> 、湯浅 雄平 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 九州大学大学院理学部地球惑星科学専攻、 <sup>2</sup> 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター、 <sup>3</sup> 気象庁)
9:30 S08-03	2016年鳥取県中部地震の破壊を止めた応力緩和 *飯尾 能久 <sup>1</sup> 、松本 聡 <sup>2</sup> 、京大防災研九大東大地震研 鳥取県中部地震余震観測班( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>2</sup> 九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター)
9:45 S08-04	なぜ2016年Kaikoura地震でHope断層は運動破壊しなかったのか? *安藤 亮輔 <sup>1</sup> 、金子 善宏 <sup>2</sup> 、Andy Howell <sup>4,3</sup> 、Nicol Andy <sup>4</sup> 、Langridge Robert <sup>3</sup> 、Hamling Ian <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学 理学系研究科 地球惑星科学専攻、 <sup>2</sup> 京都大学 理学系研究科 地球惑星科学専攻、 <sup>3</sup> GNS Science、 <sup>4</sup> Canterbury University)
10:00 S08-05	準動的地震シミュレーションを用いた中央構造線断層帯の運動破壊過程の解明 *村松 和紀、小澤 創、安藤 亮輔(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)
10:15 S08-06	階層パッチ構造をもつ動的破壊シミュレーションを用いた地震の震源パラメータのスケール法則の検証 *増田 和貴、金子 善宏(京都大学理学系研究科)
10:30	休憩
座長	野田 朱美、今西 和俊
11:00 S08-07	南海トラフの力学的固着:プレート境界地震の連鎖的な発生と余効すべり *齊藤 竜彦 <sup>1</sup> 、野田 朱美 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 気象研究所)
11:15 S08-08	オフフォルト地震と地殻変動データを用いた新手法による東北沖プレート固着の詳細な時空間変動の推定 *今西 和俊 <sup>1</sup> 、野田 朱美 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門、 <sup>2</sup> 気象研究所)
11:30 S08-09	東北日本の応力場の時空間変化によって引き起こされる火山深部低周波地震 *及川 元己、麻生 尚文、中島 淳一(東京工業大学理学部地球惑星科学系)
11:45 S08-10	2017年長野県南部の地震(Mj5.6)の断層近傍における応力場推定 *野木 ひかり <sup>1</sup> 、飯尾 能久 <sup>2</sup> 、澤田 麻沙代 <sup>2</sup> 、冨坂 和秀 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院理学系研究科、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所)
12:00 S08-11	測地データと地震データを併用した非弾性変形の解析:新潟神戸変形集中帯への適用 *野田 朱美 <sup>1</sup> 、齊藤 竜彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 気象庁気象研究所、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)

## C会場 (Zoom会議室) 午前 S09. 地震活動とその物理 S17. 津波

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	小木曾 仁、山谷 里奈
9:00 S09-18	日向灘から南西諸島北部域における地震・超低周波地震活動の相関 *浅野 陽一(防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)
9:15 S09-19	短周期地震計アレイ観測による深部低周波微動の高速移動現象 *加藤 愛太郎、竹尾 明子、小原 一成(東京大学地震研究所)
9:30 S09-20	地震波振幅の空間分布から推定した紀伊半島南東沖で発生する浅部低周波微動の時空間分布:2020年12月から2021年1月 *小木曾 仁、溜渕 功史(気象研究所地震津波研究部)
9:45 S09-21	深部低周波微動から検出された2次のスリップフロントの特徴 *前田 拓也 <sup>1</sup> 、小原 一成 <sup>1</sup> 、竹尾 明子 <sup>1</sup> 、松澤 孝紀 <sup>2</sup> 、田中 優作 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>3</sup> 名古屋大学大学院環境学研究所附属 地震火山研究センター)
10:00 S09-22	DONETデータを用いた南海トラフ浅部微動の網羅的検出 *太田 和晃(国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)
10:15 S09-23	Centroid moment tensor inversion using dense array of short-period OBSs at off Ibaraki region *山谷 里奈、望月 公廣、藤原 岳、武村 俊介(東京大学地震研究所)
10:30	休憩
座長	東 龍介、馬場 慧
11:00 S09-24	海底余震観測記録の再解析による2003年十勝沖地震(M8.0)直後の低周波微動活動 *川久保 晋 <sup>1</sup> 、東 龍介 <sup>1</sup> 、日野 亮太 <sup>1</sup> 、高橋 秀輔 <sup>2</sup> 、太田 和晃 <sup>3</sup> 、藤原 雅尚 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院、 <sup>2</sup> 電力中央研究所、 <sup>3</sup> 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 <sup>4</sup> 東京大学地震研究所)
11:15 S09-25	広帯域海底地震計とS-netで捉えられた日本・千島海溝会合部に沈み込む海山近傍の地震活動 *東 龍介 <sup>1</sup> 、川久保 晋 <sup>1</sup> 、高橋 秀輔 <sup>3</sup> 、太田 雄策 <sup>1</sup> 、高木 涼太 <sup>1</sup> 、鈴木 秀市 <sup>1</sup> 、佐藤 真樹子 <sup>1</sup> 、日野 亮太 <sup>1</sup> 、田中 伸一 <sup>2</sup> 、藤原 雅尚 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知観測センター、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>3</sup> 電力中央研究所)
11:30 S09-26	日本周辺の超低周波地震活動における時間変化の特徴の定量化 *馬場 慧、小原 一成、武村 俊介、竹尾 明子、栗原 亮(東京大学地震研究所)
11:45 S09-27	海底地震観測による日本海溝中部アウターライズ域のM6クラス正断層地震の震源断層形状 *尾鼻 浩一郎、高橋 努、山本 揚二郎、中村 恭之、藤江 剛、三浦 誠一、小平 秀一(海洋研究開発機構)
12:00 S17-01	海溝外側で発生する正断層型の大地震とその余震活動との関係について *浜田 信生(なし)

## D会場 (Zoom会議室) 午前 S03. 地殻変動・GNSS・重力 S11. 地震に伴う諸現象 S02. 地震計測・処理システム

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	富田 史章、中村 優斗
9:00 S03-05	海陸測地観測データにもとづく2011年東北地方太平洋沖地震直後の余効すべりの時空間的特徴 *Maulira Putra <sup>1</sup> 、*太田 雄策 <sup>1</sup> 、日野 亮太 <sup>1</sup> 、飯沼 卓史 <sup>2</sup> 、縣 亮一郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知観測センター、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構)
9:15 S03-06	2020年12月から2021年1月にかけて発生した熊野灘におけるスロースリップイベントの時空間発展 *飯沼 卓史 <sup>1</sup> 、荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、縣 亮一郎 <sup>1</sup> 、山本 揚二郎 <sup>1</sup> 、木村 俊則 <sup>1</sup> 、町田 祐弥 <sup>1</sup> 、有吉 慶介 <sup>1</sup> 、市村 強 <sup>2</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、小平 秀一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)
9:30 S03-07	長期海底設置用水圧計を用いた伊豆大島東方沖における連続地殻変動観測 *町田 祐弥、西田 周平、松本 浩幸、荒木 英一郎(海洋研究開発機構)
9:45 S03-08	DONET観測網に記録された海底圧力を用いた南海地域におけるSSE検出手法の適用 *井上 智裕 <sup>1</sup> 、伊藤 喜宏 <sup>2</sup> 、久保田 達矢 <sup>3</sup> 、汐見 勝彦 <sup>3</sup> 、太田 和晃 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院 理学研究科 地球惑星科学専攻、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>3</sup> 国立研究開発法人防災科学技術研究所)
10:00 S03-09	ウェアブラウダーを用いたGNSS-A海底地殻変動観測と近年の東北沖での海底地殻変動の傾向 *富田 史章 <sup>1,2</sup> 、飯沼 卓史 <sup>2</sup> 、木戸 元之 <sup>1</sup> 、本荘 千枝 <sup>3</sup> 、太田 雄策 <sup>3</sup> 、福田 達也 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学災害科学国際研究所、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 東北大学大学院理学研究科)
10:15 S03-10	GNSS-A海底地殻変動観測に影響を与える傾斜場の時間安定性と観測精度 *横田 裕輔 <sup>1</sup> 、渡邊 俊一 <sup>2</sup> 、石川 直史 <sup>2</sup> 、中村 優斗 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学 生産技術研究所、 <sup>2</sup> 海上保安庁海洋情報部)
10:30	休憩
座長	中川 茂樹、岡田 知己
11:00 S11-01	2003年十勝沖地震に伴う混濁流に関する再考察 *岩瀬 良一(海洋研究開発機構)
11:15 S02-01	水中スピーカーを用いた反射法地震探査における振源の機械特性に関する検討 *高中 一希、黒澤 礼真、鶴 哲郎(東京海洋大学大学院)
11:30 S02-02	海底面での機動的傾斜観測実現に向けた房総半島沖での長期試験観測 *塩原 肇 <sup>1</sup> 、佐藤 利典 <sup>2</sup> 、金 慧真 <sup>1</sup> 、川野 由貴 <sup>1</sup> 、永井 はるか <sup>1</sup> 、伊藤 亜妃 <sup>3</sup> 、藤原 雅尚 <sup>1</sup> 、杉岡 裕子 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 千葉大学大学院 理学研究科、 <sup>3</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>4</sup> 神戸大学 海洋底探査センター)
11:45 S02-03	短周期地震波を用いて定常地震観測網はどこまで小さい斜面崩壊を検知できるか? *土井 一生 <sup>1</sup> 、前田 拓人 <sup>2</sup> 、加藤 愛太郎 <sup>3</sup> 、武田 哲也 <sup>4</sup> 、村尾 英彦 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>2</sup> 弘前大学理工学研究科、 <sup>3</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>4</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>5</sup> (株)村尾地研)
12:00 S02-04	マルチプラットフォーム次世代WINシステムの開発(1) *中川 茂樹 <sup>1</sup> 、青山 裕 <sup>2</sup> 、高橋 浩晃 <sup>2</sup> 、前田 拓人 <sup>3</sup> 、内田 直希 <sup>4</sup> 、山本 希 <sup>4</sup> 、大竹 和生 <sup>5</sup> 、鶴岡 弘 <sup>1</sup> 、青木 陽介 <sup>1</sup> 、前田 裕太 <sup>6</sup> 、大見 士朗 <sup>1</sup> 、中道 治久 <sup>7</sup> 、大久保 慎人 <sup>8</sup> 、松島 健 <sup>9</sup> 、八木原 寛 <sup>10</sup> 、汐見 勝彦 <sup>11</sup> 、植平 賢司 <sup>11</sup> 、上田 英樹 <sup>11</sup> 、宮岡 一樹 <sup>12</sup> 、溜渕 功史 <sup>13</sup> 、本多 亮 <sup>14</sup> 、関根 秀太郎 <sup>15</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 北海道大学、 <sup>3</sup> 弘前大学、 <sup>4</sup> 東北大学、 <sup>5</sup> 東京大学システムデザイン研究センター、 <sup>6</sup> 名古屋大学、 <sup>7</sup> 京都大学、 <sup>8</sup> 高知大学、 <sup>9</sup> 九州大学、 <sup>10</sup> 鹿児島大学、 <sup>11</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>12</sup> 気象庁、 <sup>13</sup> 気象研究所、 <sup>14</sup> 神奈川県温泉地学研究所、 <sup>15</sup> 地震予知総合研究振興会)

## A会場 (Zoom会議室) 午後 S04. テクトニクス

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	中尾 篤史、米島 慎二
13:30 S04-01	北陸地方下のフリピン海プレート形状を探る *宮崎 一希 <sup>1</sup> 、中島 淳一 <sup>1</sup> 、末永 伸明 <sup>2</sup> 、吉岡 祥一 <sup>2,3</sup> ( <sup>1</sup> 東京工業大学大学院地球惑星科学系、 <sup>2</sup> 神戸大学都市安全研究センター、 <sup>3</sup> 神戸大学大学院理学研究科)
13:45 S04-02	微小地震震源アレー解析及びOBSアレー解析から見えてきた茨城沖におけるサイズテクトニクス *米島 慎二、望月 公廣(東京大学地震研究所 地震予知研究センター)
14:00 S04-03	Cascadia沈み込み帯の3次元異方性構造 *趙 大鵬、Hua Y.(東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知観測センター)
14:15 S04-04	地震の最大マグニチュードと沈み込み帯パラメタを関係づける回帰分析 *中尾 篤史 <sup>1</sup> 、桑谷 立 <sup>1</sup> 、上木 賢太 <sup>1</sup> 、吉田 健太 <sup>1</sup> 、油谷 拓 <sup>1</sup> 、日野 英造 <sup>2</sup> 、赤穂 昭太郎 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>2</sup> 統計数理研究所 モデリング研究系、 <sup>3</sup> 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門)
14:30 S04-05	大地震による火山噴火誘発のメカニズム *西村 太志(東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻)

## B会場 (Zoom会議室) 午後 S08. 地震発生の物理

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	鈴木 岳人、中島 淳一
13:30 S08-12	繰り返し地震と非地震性すべり:地震発生メカニズムの統一的理解 *中島 淳一 <sup>1</sup> 、長谷川 昭 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京工業大学大学院地球惑星科学系、 <sup>2</sup> 東北大学大学院理学研究科)
13:45 S08-13	地震滑りとスロースリップとを繋ぐ遷移領域滑りの検出 *深尾 良夫 <sup>1</sup> 、久保田 達也 <sup>2</sup> 、杉岡 裕子 <sup>3</sup> 、伊藤 亜妃 <sup>1</sup> 、利根川 貴志 <sup>1</sup> 、塩原 肇 <sup>4</sup> 、山下 幹也 <sup>5</sup> 、齊藤 竜彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 防災科学研究所、 <sup>3</sup> 神戸大学、 <sup>4</sup> 京都大学、 <sup>5</sup> 産業技術総合研究所)
14:00 S08-14	2016年チャマン断層の中規模地震に伴う一年以上続く地震後滑り:地震時滑りと非相補性 *古屋 正人 <sup>1</sup> 、松本 史子 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学 大学院理学研究科 地球惑星科学部門 地球惑星ダイナミクス分野、 <sup>2</sup> (株)パスコ)
14:15 S08-15	固着域を伝播する非地震性すべりの伝播速度 *加藤 尚之(東京大学地震研究所)
14:30 S08-16	黒潮大蛇行がスロースリップイベントに及ぼす影響:孔内とDONETの観測データの統合解析 *有吉 慶介 <sup>1</sup> 、木村 俊則 <sup>1</sup> 、宮澤 泰正 <sup>1</sup> 、ヴァーラモフ セルゲイ <sup>1</sup> 、飯沼 卓史 <sup>1</sup> 、永野 憲 <sup>1</sup> 、ゴンバーク ジョアン <sup>2,3</sup> 、荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、美山 透 <sup>1</sup> 、末木 健太郎 <sup>1</sup> 、矢田 修一郎 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>4</sup> 、小平 秀一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 米国地質調査所、 <sup>3</sup> ワシントン大学、 <sup>4</sup> 防災科学技術研究所)
14:45 S08-17	2種類の滑り伝播端形状に対する伝播速度の存在条件とその物理的解釈 *鈴木 岳人(青山学院大学理工学部 物理科学科)

## C会場 (Zoom会議室) 午後 S17. 津波

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	馬場 俊孝、楠本 聡
13:30 S17-02	津波浸水計算におけるwet/dry境界の新しい計算法 *南 雅晃(気象庁気象研究所地震津波研究部)
13:45 S17-03	南海トラフの津波ハザードマップと歴史津波の超過頻度の比較 *馬場 俊孝 <sup>1</sup> 、山中 亮一 <sup>2</sup> 、藤原 広行 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 徳島大学大学院 社会産業理工学研究所 社会基盤デザイン系、 <sup>2</sup> 徳島大学環境防災研究センター、 <sup>3</sup> 防災科学技術研究所)
14:00 S17-04	地殻変動および津波痕跡高の分布に基づく1854年安政東海地震の波源断層モデル *今井 健太郎 <sup>1</sup> 、楠本 聡 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>2,1</sup> 、古村 孝志 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>3</sup> 東京大学地震研究所)
14:15 S17-05	静岡県南伊豆町入間における安政東海地震の津波堆積物 *楠本 聡 <sup>1</sup> 、今井 健太郎 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、菅原 大助 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 東北大学)
14:30 S17-06	S-net海底水圧記録を用いたバックプロジェクション法による津波波源の推定 *水谷 歩 <sup>1</sup> 、蓮田 清 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学大学院 自然科学専攻 地球惑星ダイナミクス講座、 <sup>2</sup> 北海道大学理学研究科 地球惑星科学部門 地球惑星ダイナミクス分野)
14:45 S17-07	Interaction of tsunamis generated by successive Mw 7.4 and Mw 8.1 earthquakes on Kermadec Islands on March 4, 2021 *王 宇晨 <sup>1,2</sup> 、HEIDARZADEH Mohammad <sup>3</sup> 、佐竹 健治 <sup>1</sup> 、今井 健太郎 <sup>2</sup> 、堀 高峰 <sup>2</sup> 、胡 桂 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> Department of Civil & Environmental Engineering, Brunel University London、 <sup>4</sup> School of Earth Sciences and Engineering, Sun Yat-Sen University)

## D会場 (Zoom会議室) 午後 S02. 地震計測・処理システム S14. 地震予知・予測

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長	S02.片上 智史/S14.瀬瀬 冬樹
13:30 S02-05	長距離光ファイバDASによる海底地震観測 *松本 浩幸 <sup>1</sup> 、荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、横引 貴史 <sup>1</sup> 、岸田 欣増 <sup>2</sup> 、東 大治 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> ニューブレクス株式会社)
13:45 S02-06	DASにおける長周期観測ノイズの低減手法 *荒木 英一郎、横引 貴史(海洋研究開発機構 海域地震火山部門)
14:00 S02-07	豊橋沖海底ケーブルを用いた長期間DAS観測 *木村 俊則 <sup>1</sup> 、荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、横引 貴史 <sup>1</sup> 、山岡 耕春 <sup>2</sup> 、辻 修平 <sup>2</sup> 、渡辺 俊樹 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>2</sup> 地震津波予測研究開発センター、 <sup>2</sup> 名古屋大学大学院 環境学研究所附属 地震火山研究センター)
14:15 S14-01	発生年不確定の繰り返し地震Brownian Passage Timeモデルへの重み付き尤度法の適用と最大推定値解析 *井元 政二郎、森川 信之、藤原 広行(防災科学技術研究所)
14:30 S14-02	GNSSデータを用いた内陸地震長期発生確率の試算 *西村 卓也(京都大学防災研究所)
14:45 S14-03	時空間的な非一様性を有する広域の地震カタログに対するHIST-ETASモデルの修正推定 *尾形 良彦、桂 康一(統計数理研究所)

#は招待講演



# ポスター発表 10月15日(金)15:30~17:00 ポスター会場

## S01P, S02P, S04P, S07P, S08P, S10P, S12P, S14P, S16P, S17P

S01. 地震の理論・解析法	
S01P-01	沈み込む海洋性地殻内部を伝播するガイド波の数値シミュレーション <ul style="list-style-type: none"><li>*城戸口 和希<sup>1</sup>、河原 純<sup>1</sup>、椎名 高裕<sup>2</sup>(<sup>1</sup>茨城大学大学院理工学研究科、<sup>2</sup>産業技術総合研究所地質調査総合センター)</li></ul>
S01P-02	Passive-source reverse-time migrationに基づく 海洋スラブのイメージング数値実験 <ul style="list-style-type: none"><li>*古村 孝志(東京大学地震研究所)</li></ul>
S01P-03	水平成層構造での海面～海中における水中音響波形計算—海水層による増幅・減幅の影響評価— <ul style="list-style-type: none"><li>*中村 武史<sup>1</sup>、竹中 博士<sup>2</sup>(<sup>1</sup>電力中央研究所、<sup>2</sup>岡山大学)</li></ul>
S01P-04	海底地震計記録へ適用可能な近地地震向けMigration-baseの震源決定法開発 <ul style="list-style-type: none"><li>*米島 慎二、望月 公廣(東京大学地震研究所 地震予知研究センター)</li></ul>
S01P-05	東北地方太平洋沖地震震源域の波形トモグラフィーに向けた波動場の検討 <ul style="list-style-type: none"><li>*岡元 太郎<sup>1</sup>、竹中 博士<sup>2</sup>、中村 武史<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学 理学院 地球惑星科学系、<sup>2</sup>岡山大学 学術研究院自然科学学域、<sup>3</sup>電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 地質・地下環境研究部門)</li></ul>
S01P-06	日本列島における脈動実体波のP-s変換波の抽出 <ul style="list-style-type: none"><li>*加藤 翔太、西田 究(東京大学地震研究所 数理系研究部門)</li></ul>
S01P-07	環状断層を持つカルデラ火山における鉛直CLVD型のモーメントテンソル解の解釈—シエラネグラ火山とキラウエア火山を例に <ul style="list-style-type: none"><li>*三反畑 修<sup>1,2</sup>、金森 博雄<sup>3</sup>、Rivera Luis<sup>4</sup>、Zhan Zhongwen<sup>3</sup>、佐竹 健治<sup>5</sup>、綿田 辰吾<sup>5</sup>、Lai Voon Hui<sup>6</sup>(<sup>1</sup>防災科学技術研究所、<sup>2</sup>日本学術振興会特別研究員(PD)、<sup>3</sup>カリフォルニア工科大学、<sup>4</sup>ストラズブル大学地球物理研究所、<sup>5</sup>東京大学地震研究所、<sup>6</sup>オーストラリア国立大学)</li></ul>
S01P-08	MCMCによる地震波鉛直異方性パラメタの観測可能性の検証と火山直下の互層構造の再現 <ul style="list-style-type: none"><li>*丸山 純平<sup>1</sup>、川勝 均<sup>1</sup>、竹内 希<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学地震研究所 海半球観測研究センター)</li></ul>
S01P-09	ベイズ統計を用いた震源決定法に対する3次元走時計算適用の検討 <ul style="list-style-type: none"><li>*近藤 優子<sup>1</sup>、杉岡 裕子<sup>1</sup>、大林 政行<sup>2</sup>(<sup>1</sup>国立大学法人神戸大学、<sup>2</sup>国立研究開発法人海洋研究開発機構)</li></ul>
S01P-10	球対称地球自由振動モード計算のためのSymplectic数値積分法 <ul style="list-style-type: none"><li>*綿田 辰吾(東京大学地震研究所 地球計測系研究部門)</li></ul>

### S02. 地震計測・処理システム

S02P-01	最短経路法を走時計算に適用した3次元速度構造での震源決定 <ul style="list-style-type: none"><li>*関口 涉次(防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)</li></ul>
S02P-02	S-netを用いたセントロイドモーメントテンソル解析の検討 <ul style="list-style-type: none"><li>*木村 尚紀、浅野 陽一(防災科学技術研究所)</li></ul>
S02P-03	MQTTプロトコルを用いたWINシステム用リアルタイム表示システムの開発 <ul style="list-style-type: none"><li>*鶴岡 弘(東京大学地震研究所)</li></ul>
S02P-04	東北地方中南部における地震活動(序報) <ul style="list-style-type: none"><li>*岡田 知己<sup>1</sup>、中山 貴史<sup>1</sup>、平原 聡<sup>1</sup>、堀内 茂木<sup>9</sup>、勝俣 啓<sup>2</sup>、大園 真子<sup>2,4</sup>、小菅 正裕<sup>3</sup>、前田 拓人<sup>3</sup>、山中 佳子<sup>5</sup>、片尾 浩<sup>6</sup>、松島 健<sup>7</sup>、八木原 寛<sup>8</sup>、2011年東北地方太平洋沖地震緊急観測グループ(<sup>1</sup>東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、<sup>2</sup>北海道大学、<sup>3</sup>弘前大学、<sup>4</sup>東京大学地震研究所、<sup>5</sup>名古屋大学、<sup>6</sup>京都大学防災研究所、<sup>7</sup>九州大学、<sup>8</sup>鹿児島大学、<sup>9</sup>ホームサイスマ)</li></ul>
S02P-05	低周波数サンプリングの加速度記録に適用可能なリアルタイム震度演算法 <ul style="list-style-type: none"><li>*平井 敬<sup>1</sup>、吉岡 優樹<sup>2</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学減災連携研究センター、<sup>2</sup>名古屋大学大学院環境学研究科)</li></ul>
S02P-06	三陸沖における海底光ケーブルとDistributed Acoustic Sensingを用いた反射法地震探査 <ul style="list-style-type: none"><li>*高野 洋輝<sup>1</sup>、篠原 雅尚<sup>2</sup>、仲田 理映<sup>2</sup>、蔵下 英司<sup>2</sup>、石山 達也<sup>2</sup>、望月 公廣<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻、<sup>2</sup>東京大学地震研究所)</li></ul>
S02P-07	DAS地震動記録を用いた海底光ファイバーケーブルの敷設環境推定 <ul style="list-style-type: none"><li>*片上 智史<sup>1</sup>、荒木 英一郎<sup>2</sup>、高橋 成実<sup>3</sup>、野田 俊太<sup>1</sup>、岩田 直泰<sup>1</sup>、是永 将宏<sup>1</sup>、山内 泰知<sup>1</sup>(<sup>1</sup>鉄道総合技術研究所、<sup>2</sup>海洋研究開発機構、<sup>3</sup>防災科学技術研究所)</li></ul>

### S04. テクニクス

S04P-01	アラスカ沈み込み帯における深部低周波微動と3次元温度構造・脱水分布との関連性 <ul style="list-style-type: none"><li>*岩本 佳耶<sup>1</sup>、末永 伸明<sup>2</sup>、吉岡 祥一<sup>2,1</sup>(<sup>1</sup>神戸大学大学院 理学研究科 惑星学専攻、<sup>2</sup>神戸大学都市安全研究センター)</li></ul>
---------	---

### S07. 地球及び惑星の内部構造と物性

S07P-01	北極域における内核の東西半球境界の位置の調査 <ul style="list-style-type: none"><li>*岩崎 理史(京都大学大学院)</li></ul>
S07P-02	表面波波形フィッティングによる海洋地殻および上部マントルのS波速度構造の推定—短期成分を活用した初期モデルの構築— <ul style="list-style-type: none"><li>*永井 はるか<sup>1</sup>、竹内 希<sup>1</sup>、川勝 均<sup>1</sup>、塩原 肇<sup>1</sup>、一瀬 建日<sup>1</sup>、杉岡 裕子<sup>2</sup>、伊藤 亜妃<sup>3</sup>、歌田 久司<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学地震研究所、<sup>2</sup>神戸大学、<sup>3</sup>海洋研究開発機構)</li></ul>

S08. 地震発生の物理	
S08P-01	2016年熊本地震の相対地震 <ul style="list-style-type: none"><li>*森 鈴万奈<sup>1</sup>、平松 良造<sup>2</sup>(<sup>1</sup>金沢大学大学院自然科学研究科、<sup>2</sup>金沢大学理工学研究科地球社会基盤学系)</li></ul>
S08P-02	日本列島内陸域の通常地震と低周波地震の震源スペクトルの形状の推定 <ul style="list-style-type: none"><li>*織茂 雅希<sup>1</sup>、吉田 圭佑<sup>1</sup>、平 貴昭<sup>2</sup>、松澤 暢<sup>1</sup>、長谷川 昭<sup>1</sup>、江本 賢太郎<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東北大学理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、<sup>2</sup>カリフォルニア大学バークレイ校地震研究所、<sup>3</sup>東北大学理学研究科地球物理学専攻固体地球物理学講座)</li></ul>
S08P-03	ニュージーランド北島ラウクタラ半島周辺で発生するプレート境界地震の震源パラメータの特徴 <ul style="list-style-type: none"><li>*立岩 和也<sup>1</sup>、Chamberlain Calum<sup>2</sup>、Savage Martha<sup>2</sup>、岡田 知己<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻、<sup>2</sup>ヴィクトリア大学ウェリントン)</li></ul>
S08P-04	伊豆半島東方沖の2006年群発地震活動で発生した火山構造性地震の震源過程解析 <ul style="list-style-type: none"><li>*田中 夕香子、山田 卓司(茨城大学)</li></ul>
S08P-05	震源域直上の海底水圧計記録に基づく2011年東北地震の地震波放射過程に関する考察 <ul style="list-style-type: none"><li>*久保 久彦、久保田 達矢、齊藤 竜彦(防災科学技術研究所)</li></ul>
S08P-06	Initiation of the M–9 earthquake cycle: the 2021 Miyagi–Oki Mw7.0 earthquake at the deep seismic/aseismic transition <ul style="list-style-type: none"><li>*吉田 圭佑、松澤 暢、内田 直希(東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)</li></ul>
S08P-07	2011年東北地方太平洋沖地震後の宮城県沖地震の準備過程 <ul style="list-style-type: none"><li>*中田 令子、日野 亮太(東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター)</li></ul>
S08P-08	動力学的震源モデルに基づく中央構造線断層帯の運動性の検討 <ul style="list-style-type: none"><li>*加瀬 祐子、浦田 優美((<sup>1</sup>国研)産業技術総合研究所)</li></ul>
S08P-09	線形多孔質弾性体中の動的地震サイクルシミュレーション <ul style="list-style-type: none"><li>*野田 博之(京都市大 防災研究所)</li></ul>
S08P-10	粘弾性媒質中の地震サイクルにおける断層強度不均質による影響 <ul style="list-style-type: none"><li>*山本 誠、野田 博之(京都大学)</li></ul>
S08P-11	不均質な摩擦パラメータを伴う断層におけるb値の時間変化 <ul style="list-style-type: none"><li>*伊東 良、金子 善宏(京都大学)</li></ul>
S08P-12	格子H行列を用いた3次元非平面断層の大規模地震サイクルシミュレーション <ul style="list-style-type: none"><li>*小澤 創<sup>1</sup>、伊田 明弘<sup>2</sup>、星野 哲也<sup>3</sup>、安藤 亮輔<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学理学学系研究科地球惑星科学専攻、<sup>2</sup>海洋研究開発機構、<sup>3</sup>東京大学情報基盤センター)</li></ul>
S08P-13	プレートの沈み込みに伴う温度圧力条件の変化および粘土鉱物の脱水を考慮した水理学的モデルに基づく間隙水圧の定常解 <ul style="list-style-type: none"><li>*金木 俊也、野田 博之(京都大学防災研究所)</li></ul>
S08P-14	房総沖スロースリップのすべりと応力変化を用いたすべりと時間に依存する摩擦構成則のパラメータの推定 <ul style="list-style-type: none"><li>*内田 礼央<sup>1</sup>、佐藤 利典<sup>1</sup>、小林 琢磨<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>千葉大学、<sup>2</sup>アジア航測)</li></ul>
S08P-15	スロースリップのすべり速度と剪断応力変化を用いた有効法線応力の推定 <ul style="list-style-type: none"><li>*佐藤 利典<sup>1</sup>、小林 琢磨<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>千葉大学大学院理学研究院、<sup>2</sup>アジア航測(株))</li></ul>
S08P-16	センチメートルスケールにおける変はんれい岩ガウジの摩擦特性 —岩石摩擦特性のスケール依存性解明に向けて— <ul style="list-style-type: none"><li>*山下 太<sup>1</sup>、溝口 一生<sup>2</sup>、飯塚 幸子<sup>3</sup>(<sup>1</sup>国立研究開発法人防災科学技術研究所、<sup>2</sup>一般財団法人電力中央研究所、<sup>3</sup>株式会社セレス)</li></ul>
S08P-17	液動伝播シミュレーションを用いた4m二軸岩石摩擦試験機におけるAEセンサキャリアレーション <ul style="list-style-type: none"><li>*大久保 蔵馬<sup>1</sup>、山下 太<sup>1</sup>、福山 英一<sup>2,1</sup>(<sup>1</sup>防災科学技術研究所、<sup>2</sup>京都大学大学院工学研究科)</li></ul>
S08P-18	大型載荷速度変化摩擦試験によって形成されたガウジ層の微細構造 <ul style="list-style-type: none"><li>*渡辺 俊<sup>1</sup>、山下 太<sup>2</sup>、前田 純伶<sup>2</sup>、下田 晃嘉<sup>3</sup>、福山 英一<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>京都大学、<sup>2</sup>国立研究開発法人防災科学技術研究所、<sup>3</sup>日本生命保険相互会社)</li></ul>
S08P-19	仕事率の増加と鏡面の生成・破壊にともなうインド砂岩の摩擦・摩擦率の変動 <ul style="list-style-type: none"><li>*前田 純伶<sup>1</sup>、山下 太<sup>1</sup>、大久保 蔵馬<sup>1</sup>、福山 英一<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>国研)防災科学技術研究所、<sup>2</sup>京都大学)</li></ul>
S08P-20	Existence of Weak Zones: Enhancing Dynamic Rupture or Not? <ul style="list-style-type: none"><li>*上西 幸司<sup>1,2</sup>、長沢 国洋<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学大学院新領域創成科学研究科、<sup>2</sup>東京大学大学院工学系研究科)</li></ul>
S08P-21	On the Dynamic Stability of a Granular Slope <ul style="list-style-type: none"><li>*上西 幸司、喜 東昶(東京大学大学院新領域創成科学研究科)</li></ul>
S08P-22	M5.5地震発生場と母岩から回収したコア試料の物理特性 <ul style="list-style-type: none"><li>*阪口 寛祐<sup>1</sup>、吉田 峻輔<sup>2</sup>、東 充也<sup>3</sup>、横山 友輝<sup>4</sup>、鈴木 皓一郎<sup>1</sup>、矢部 康男<sup>5</sup>、Ligaraba Dakalo<sup>6</sup>、Masondo Nandipha<sup>6</sup>、廣野 哲朗<sup>7</sup>、山本 裕二<sup>8</sup>、松崎 琢也<sup>8</sup>、小笠原 宏<sup>9</sup>、大場 誠也<sup>9</sup>、藤本 雅也<sup>9</sup>(<sup>1</sup>立命館大学大学院、<sup>2</sup>独立行政法人造幣局、<sup>3</sup>マツダ株式会社、<sup>4</sup>株式会社テクノプロ、<sup>5</sup>東北大学理学研究科、<sup>6</sup>Graduate School of Geoscience, University of the Witwatersrand、<sup>7</sup>大阪大学理学研究科、<sup>8</sup>高知大学海洋コア総合研究センター、<sup>9</sup>立命館大学理工学部)</li></ul>

### S10. 活断層・歴史地震

S10P-01	長者ヶ原—芳井断層の重力異常解析 <ul style="list-style-type: none"><li>松井 佑樹、澤田 明宏、*平松 良浩(金沢大学)</li></ul>
S10P-02	1914年桜島地震における鹿児島市内の石堺被害と震度分布 <ul style="list-style-type: none"><li>*小林 励司(鹿児島大学)</li></ul>
S10P-03	日記史料を用いた江戸末期の疑わしい被害地震の検証(1) <ul style="list-style-type: none"><li>*原田 智也<sup>1</sup>、西山 昭仁<sup>2</sup>、片桐 昭彦<sup>3</sup>、水野 嶺<sup>4</sup>、吉岡 誠也<sup>4</sup>(<sup>1</sup>無所属、<sup>2</sup>京都大学防災研究所、<sup>3</sup>新潟大学災害・復興科学研究所、<sup>4</sup>東京大学地震研究所)</li></ul>

### S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力

S12P-01	注水による誘発地震の発生過程研究に向けた寒天ゲルを用いた光弾性実験システムの構築 <ul style="list-style-type: none"><li>*吉光 奈奈<sup>1</sup>、福山 英一<sup>1,2</sup>、平野 史朗<sup>3</sup>、大寄 雅人<sup>1</sup>(<sup>1</sup>京都大学、<sup>2</sup>防災科研、<sup>3</sup>立命館大学)</li></ul>
S12P-02	4 MHz程度まで感度を有する広帯域超音波トランスデューサの較正 <ul style="list-style-type: none"><li>*川方 裕則<sup>1</sup>、大内 智博<sup>2</sup>(<sup>1</sup>立命館大学理工学部、<sup>2</sup>愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター)</li></ul>

S14. 地震予知・予測	
S14P-01	背景地震活動の地球潮汐相関係数に基づく地震予測モデルの効率:トンガ・ケルマディック海溝沿いのプレート境界型大地震に対して <ul style="list-style-type: none"><li>*弘瀬 冬樹<sup>1</sup>、前田 憲二<sup>2</sup>、上垣内 修<sup>3</sup>(<sup>1</sup>気象研究所 地震津波研究部、<sup>2</sup>気象庁地震火山部、<sup>3</sup>気象業務支援センター)</li></ul>
S14P-02	静岡県西部地域の地下水温変化と地震活動 <ul style="list-style-type: none"><li>*上久保 廣信(浜松市立北星中学校)</li></ul>

### S16. 地盤構造・地盤震動

S16P-01	国道4号線沿いのDAS観測により捉えられた移動車両が動起する表面波を直接利用した浅部S波速度構造の推定 <ul style="list-style-type: none"><li>*矢武 克啓、中原 恒、江本 賢太郎、西村 太志(東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻 固体地球物理学講座)</li></ul>
S16P-03	1943年鳥取地震による地震断層近傍における微動探査—鳥取市宮谷・大塚地区— <ul style="list-style-type: none"><li>*野口 竜也<sup>1</sup>、蘆田 龍<sup>1</sup>、小林 和生<sup>2</sup>、西村 武<sup>3</sup>、吉川 菜緒<sup>1</sup>、香川 敬生<sup>1</sup>(<sup>1</sup>鳥取大学工学部社会システム土木系学科、<sup>2</sup>(株)荒谷建設コンサルタント、<sup>3</sup>鳥取大学大学院工学研究科)</li></ul>
S16P-04	高知平野の表層地盤の数値モデル高精度化のための地盤震動観測 <ul style="list-style-type: none"><li>*山田 伸之(高知大学)</li></ul>
S16P-05	山梨地方における浅部・深部統合地盤構造モデルの構築 <ul style="list-style-type: none"><li>*先名 重樹<sup>1</sup>、若井 淳<sup>1</sup>、佐藤 将<sup>2</sup>、谷田貝 淳<sup>2</sup>、松山 尚典<sup>2</sup>、藤原 広行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>国立研究開発法人防災科学技術研究所 マルチハザード評価研究部門、<sup>2</sup>応用地質)</li></ul>
S16P-06	常時微動H/Vによる薩摩硫黄島におけるカルデラ境界探索の試み <ul style="list-style-type: none"><li>*山田 雅行<sup>1</sup>、伊藤 佳洋<sup>1</sup>、長坂 陽介<sup>2</sup>、野津 厚<sup>2</sup>、長尾 毅<sup>3</sup>、大岩根 尚<sup>4</sup>(<sup>1</sup>(株)ニュージェック、<sup>2</sup>港湾空港技術研究所、<sup>3</sup>神戸大学、<sup>4</sup>合同会社むすひ)</li></ul>
S16P-07	中央構造線三野断層の断層破壊帯での動的変形特性 <ul style="list-style-type: none"><li>*香川 敬生<sup>1</sup>、木村 一成<sup>2</sup>(<sup>1</sup>鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科、<sup>2</sup>(株)ナイバ愛媛支店)</li></ul>
S16P-08	大規模盛土造成地における微動探査を用いた地盤震動特性の把握 —鳥取市北園の事例— <ul style="list-style-type: none"><li>*西村 武<sup>1</sup>、西村 菜沙<sup>2</sup>、野口 竜也<sup>2</sup>、香川 敬生<sup>2</sup>(<sup>1</sup>鳥取大学大学院 工学研究科 博士後期課程 社会基盤工学専攻、<sup>2</sup>鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科)</li></ul>
S16P-09	地震波干渉法に基づくデコンボリューション波形に関する基礎的検討 <ul style="list-style-type: none"><li>*仲野 健一<sup>1</sup>、上林 宏敏<sup>2</sup>(<sup>1</sup>株式会社 安藤・間、<sup>2</sup>京都大学)</li></ul>
S16P-10	3次元地震動シミュレーションおよびコヒーレンスモデルに基づく隣接地点間の地震動の空間変動特性評価 <ul style="list-style-type: none"><li>*徳光 亮一<sup>1</sup>、山本 優<sup>1</sup>、内山 泰生<sup>1</sup>、大野 晋<sup>2</sup>(<sup>1</sup>大成建設、<sup>2</sup>東北大学)</li></ul>
S16P-11	SITES法によるスマトラ断層の断層面推定(2) <ul style="list-style-type: none"><li>*山品 匡史<sup>1</sup>、大久保 慎人<sup>1</sup>、田部井 隆雄<sup>1</sup>、UMAR Muksin<sup>2</sup>、ISMAIL Nazli<sup>2</sup>(<sup>1</sup>高知大学、<sup>2</sup>Syiah Kuala 大学)</li></ul>

### S17. 津波

S17P-01	地震をトリガーとする地すべりに起因する津波の確率論的評価手法に関する基礎的検討 <ul style="list-style-type: none"><li>*木場 正信<sup>1</sup>、土屋 悟<sup>2</sup>、木村 達人<sup>3</sup>、松山 昌史<sup>4</sup>、加藤 勝秀<sup>5</sup>(<sup>1</sup>エングローブコンサルタント、<sup>2</sup>ユニック、<sup>3</sup>東電設計、<sup>4</sup>電力中央研究所、<sup>5</sup>中部電力)</li></ul>
S17P-02	異なる最適化手法を用いた津波データベース型津波浸水予測 <ul style="list-style-type: none"><li>*上谷 政人<sup>1</sup>、馬場 俊孝<sup>2</sup>(<sup>1</sup>徳島大学大学院創成科学研究科理工学専攻、<sup>2</sup>徳島大学大学院産業理工学研究部)</li></ul>
S17P-03	四国沖土佐はえ北部の海底地すべりを仮定した非静水圧効果有の二層流モデル津波計算 <ul style="list-style-type: none"><li>*黒住 将弘、馬場 俊孝(徳島大学)</li></ul>
S17P-04	南海トラフ沿いで発生する海底地すべりによる津波励起の特徴に関する予察 <ul style="list-style-type: none"><li>*今井 健太郎<sup>1</sup>、中村 恭之<sup>1</sup>、富士原 敏也<sup>1</sup>、谷岡 勇市郎<sup>2</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構 海域地震火山部門、<sup>2</sup>北海道大学 大学院理学研究院)</li></ul>
S17P-05	2006年及び2007年千島列島沖地震津波の減衰過程 <ul style="list-style-type: none"><li>*赤井 啓嗣<sup>1</sup>、新本 直子<sup>2</sup>、馬場 俊孝<sup>1</sup>(<sup>1</sup>徳島大学大学院、<sup>2</sup>徳島大学)</li></ul>
S17P-06	1952年カムチャッカ地震における顕著な津波後続波 <ul style="list-style-type: none"><li>*対馬 弘晃、山本 剛晴(気象庁気象研究所)</li></ul>

# 10月16日(土) 口頭発表

## A会場 (Zoom会議室) 午前

### S20. 授賞式および記念講演

招待講演 (講演時間17分・質疑応答3分)

座長 安藤 亮輔

9:00	授賞式 会長挨拶
9:04	受賞者紹介
9:18	受賞記念講演会
9:19 S20-01#	多角的な視点による地震波動源物理学 *麻生 尚文(東京工業大学)
9:39 S20-02#	巨大地震発生機構の理解と予測可能性に関する地震発生サイクルシミュレーション *大谷 真紀子(東京大学 地震研究所)
9:59 S20-03#	地震・地殻変動多点連続観測データに基づく地球内部広帯域変動現象の研究 *高木 涼太(東北大学大学院理学研究科)
10:19	総合討論

## A会場 (Zoom会議室) 午前

### S01. 地震の理論・解析法

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長 竹尾 明子、前田 裕太

11:00 S01-01	Rayleigh減衰を用いたQ一定地震動の差分法計算 *頤願 一起 <sup>1</sup> 、テオ ホンチ <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 慶應大学大学院政策・メディア研究科、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)
11:15 S01-02	波形インバージョンにおける放射パターンを補正した経験的グリーン関数の先験情報依存性 *柴田 律也 <sup>1</sup> 、及川 元己 <sup>1</sup> 、麻生 尚文 <sup>1</sup> 、中島 淳一 <sup>1</sup> 、井出 哲 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京工業大学大学院地球惑星科学系、 <sup>2</sup> 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)
11:30 S01-03	自己相関関数の誤差評価－反射断面推定の信頼性向上に向けて *前田 裕太、渡辺 俊樹(名古屋大学)
11:45 S01-04	近地地震を用いた受動的反射波イメージング: MeSONetデータへのRTM法の適用 *白石 和也 <sup>1</sup> 、渡辺 俊樹 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 名古屋大学)
12:00 S01-05	昭和祈山内部の3次元S波速度構造及び海抜以浅の極微小地震活動 *竹尾 明子 <sup>1</sup> 、西田 究 <sup>1</sup> 、石瀬 素子 <sup>1</sup> 、青山 裕 <sup>2</sup> 、青木 陽介 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 北海道大学理学研究科地震火山観測研究センター)

## B会場 (Zoom会議室) 午前

### S08. 地震発生の物理

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長 吉田 圭佑、直井 誠

11:00 S08-18	動的破壊モデルから考察する複雑な断層形状がもたらす糸線への影響 *青木 拓実 <sup>1</sup> 、金子 善宏 <sup>1</sup> 、Kearse Jesse <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> Victoria University of Wellington)
11:15 S08-19	スペクトル比を用いた2000年鳥取県西部地震震源域におけるダブルカップル地震と非ダブルカップル地震の震源特徴の推定 *本越 拓実 <sup>1</sup> 、松本 聡 <sup>2</sup> 、飯尾 能久 <sup>3</sup> 、酒井 慎一 <sup>4</sup> 、加藤 愛太郎 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 九州大学大学院理学府 地球惑星科学専攻、 <sup>2</sup> 九州大学大学院理学研究科付属地震火山観測研究センター、 <sup>3</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>4</sup> 東京大学地震研究所)
11:30 S08-20	室内水圧破碎実験によって誘発された微小破壊の地震モーメント・コーナー周波数推定 *直井 誠 <sup>1</sup> 、今北 啓一 <sup>1</sup> 、陳 友晴 <sup>1</sup> 、山本 和敏 <sup>1</sup> 、田中 壘 <sup>1</sup> 、川方 裕則 <sup>2</sup> 、石田 毅 <sup>1</sup> 、福山 英一 <sup>1</sup> 、有馬 雄太郎 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> 立命館大学、 <sup>3</sup> 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構)
11:45 S08-21	Radiated energy and source complexity of small earthquakes estimated from a large source time function data base in Japan *吉田 圭佑 <sup>1</sup> 、金森 博雄 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学 地震・噴火予知研究観測センター、 <sup>2</sup> カリフォルニア工科大学)
12:00 S08-22	P波前地震重力信号に現れる地震波形と異なる見かけの震源励起依存性 *河合 貴太郎、亀 伸樹(東京大学地震研究所)

## C会場 (Zoom会議室) 午前

### S10. 活断層・歴史地震

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長 石村 大輔、白濱 吉起

11:00 S10-01	表面照射年代測定を用いた野坂・集福寺断層帯集福寺断層の左横ずれ変位速度の推定 *白濱 吉起(産業技術総合研究所 地質調査総合センター 活断層火山研究部門活断層調査研究グループ)
11:15 S10-02	琵琶湖西岸断層帯南部と黄巣断層の運動性に関する検討 *小松原 琢 <sup>1</sup> 、西山 昭仁 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 地質情報研究部門平野地質研究グループ、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所)
11:30 S10-03	熊本県西原村布田における布田川断層の活動履歴 *石村 大輔 <sup>1</sup> 、岩佐 佳哉 <sup>2</sup> 、高橋 直也 <sup>3</sup> 、小田 龍平 <sup>1</sup> 、田所 龍二 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京都市大学、 <sup>2</sup> 広島大学、 <sup>3</sup> 東北大学、 <sup>4</sup> 千葉大学)
11:45 S10-04	1780年ウルフ島地震による北海道への津波の影響 *林 豊(気象研究所)
12:00 S10-05	昭和19年東南海地震における諏訪地域の詳細震度分布と被害 *奥山 加蘭 <sup>1</sup> 、内山 琴絵 <sup>2</sup> 、廣内 大助 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 信州大学教職大学院、 <sup>2</sup> 所属なし、 <sup>3</sup> 信州大学)

## A会場 (Zoom会議室) 午後

### S01. 地震の理論・解析法

### S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長 S01.高野 智也/S12.小村 健太郎

13:30 S01-06	脈動P波の震源カタログ: 波浪モデルWAVEWATCH IIIとの比較 *西田 究 <sup>1</sup> 、高木 涼太 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター)
13:45 S01-07	日本列島の地殻浅部における地震波速度変化の地球潮汐応答 *高野 智也 <sup>1</sup> 、西田 究 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 弘前大学大学院理工学研究科、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)
14:00 S01-08	海底地震観測による地震波ノイズを使ったグリーンランド氷河の流動速度の検出 *村井 芳夫 <sup>1</sup> 、ボドリスキ エヴゲニ <sup>2</sup> 、漢那 直也 <sup>3</sup> 、杉山 慎 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学理学研究院、 <sup>2</sup> 北海道大学北極域研究センター、 <sup>3</sup> 東京大学大気海洋研究所、 <sup>4</sup> 北海道大学低温科学研究所)
14:15 S12-01	稠密地震観測によって推定された近畿地方北部の応力場 *田中 俊雄 <sup>1</sup> 、飯尾 能久 <sup>2</sup> 、片尾 浩 <sup>2</sup> 、澤田 麻沙代 <sup>2</sup> 、富阪 和秀 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所付属地震予知研究センター)
14:30 S12-02	大阪平野下基盤における原位置地殻応力(3)－コア変形法による再計測－ *小村 健太郎 <sup>1</sup> 、船戸 明雄 <sup>2</sup> 、伊藤 高敏 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 深田地質研究所、 <sup>3</sup> 東北大学流体科学研究所)
14:45 S12-03	断層摩擦発熱の指標としての炭質物の熱熱成反応の含水条件下での実験的評価 *岩垣 恵太、廣野 哲朗(大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻)

## B会場 (Zoom会議室) 午後

### S08. 地震発生の物理

### S18. 地震教育・地震学史

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長 S08.平野 史朗/S18.光井 能麻

13:30 S08-23	$\omega$ - <sup>2</sup> モデル、モーメントの3乗則、およびGR則を満たす確率的震源時間関数 *平野 史朗(立命館大学理工学部)
13:45 S08-24	テクトニック微動から低周波地震を抽出する *井出 哲(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)
14:00 S18-01	国立科学博物館で開催した東日本大震災からの10年間についての企画展 *室谷 智子(国立科学博物館)
14:15 S18-02	活断層の長期評価と地震動予測に関する理学系専門家向けアンケート調査 ー不確実性を有する情報の発信方法改善に向けてー *光井 能麻、鷲谷 威(名古屋大学 減災連携研究センター)
14:30 S18-03	ヤフーコメントから探る民間の地震予測を信じる理由 *織原 義明(東京学芸大学教育学部)
14:45 S18-04	平成29(2017)年改訂学習指導要領での小中学校「理科」における地震、地震防災・減災の取扱い *根本 泰雄(立命館大学理工)

## C会場 (Zoom会議室) 午後

### S10. 活断層・歴史地震

### S07. 地球及び惑星の内部構造と物性

通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)

座長 S10.白濱 吉起/S7.一瀬 建日

13:30 S10-06	「高野家記録」を用いた18世紀の宮城県南部の地震活動の分析 *漆原 惇、加納 靖之、大邑 潤三(東京大学地震研究所)
13:45 S10-07	関東甲信越の史料を用いた安政江戸地震の余震活動の分析 *馬場 道人、加納 靖之(東京大学地震研究所)
14:00 S07-01	千島一本州スラブ海側の410-km不連続面 直上の低速度異常 *大林 政行、吉光 淳子、深尾 良夫(海洋研究開発機構 火山・地球内部研究センター)
14:15 S07-02	熱伝導率の異质性を考慮した東北地方沈み込み帯温度構造のモデリング *森重 学 <sup>1</sup> 、田阪 美樹 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 静岡大学)

#は招待講演